器具のはずしかた　必ず電源を切って本体やランプが冷えてから行ってください。

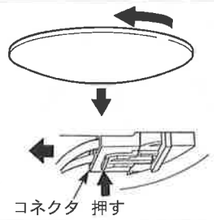
■カバーの外しかた

カバーを左に回してください。

カバーは無理にはずさないでください。カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。

■電源の外しかた

右図のようにコネクタの矢印部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。

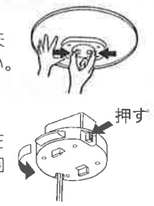


■本体の外しかた

本体中央部のレバーを矢印方向へ引いてください。

■アダプタの外しかた

アダプタの赤いボタンを押しながら矢印方向に回してください。



注意

※ボタンを押さずに回すと引掛シーリングが破損します。

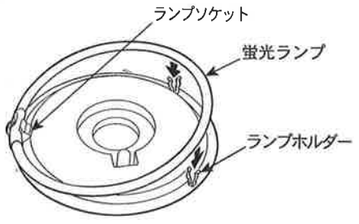
ランプの取付、取外し

ランプの取付

①ランプソケットのレバーを開いてください。

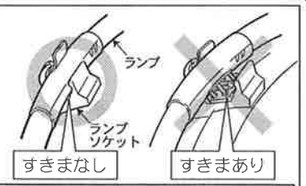
②ランプピンをランプソケットに差し込んでください。ランプをソケットに差し込むと、レバーが閉じます。

③図のようにランプホルダーにランプを押して取り付けてください。



重要

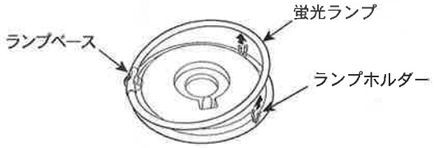
ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認してください。



⚠警告　落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

ランプの取外し

①ランプベース部を手で押さえながらランプホルダーからランプを取り外してください。



②ランプをささえながら図のようにレバーを手で矢印方向におこしてランプソケットからランプを取り外してください。

蛍光ランプの取替え　ランプ交換の際は、NEC蛍光ランプ・ホタルックスリムをご指定ください。

■このような状態になりましたら、器具のワット数に応じたランプに取り替えてください。(寿命です)
- ●点滅を繰り返すとき。
- ●明るさが低下したとき。
- ●ランプが正常に点灯しないとき。
  (安全の為、ランプが寿命の場合は保護が働き、ランプが一瞬点灯したのちに消灯します。)
- ●ランプの電極付近が黒ずんだとき。
  (初めて点灯したときは、電極付近が黒くなり、しばらく点灯しておくと消えることがあります。この場合は、寿命ではありません。)

必ず電源を切り、ランプが冷えてから取り替えてください。

■ランプはランプソケット及びランプホルダーに確実に取り付けてください。

■ランプ交換の際は、ランプホルダーでランプを強く弾かないでください。ランプ破損のの原因となります。

お手入れのしかた

お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。

- ・明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃、点検してください。
- ・ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。
- ・器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。
- ・カバー等、樹脂部分の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。

故障？と思われたら

ご使用中に異常が生じたときは右表を参考にお調べください。
右表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お近くのNEC製品取扱店にご相談ください。
なお連絡されるときは器具の形式名及びお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。
形式名は器具本体部の器具ラベルに表示しています。

故障の状態	主な原因
蛍光ランプが点灯しない	蛍光ランプがランプソケットに正常に取り付いていない。
	蛍光ランプの寿命
保安球が点灯しない	保安球の寿命
	保安球のゆるみ
いずれも点灯しない	照明器具の壁スイッチがオフになっている。
あかりタイマー機能 スリープタイマー機能 が動作しない	リモコンがホルダーに入れて信号の届かない場所に置かれている。
	リモコンが信号の届く場所に置かれているホルダーに入っていない。

故障の状態	主な原因
LEDが勝手に点滅する	LED点滅デモ機能状態になっています。9ページの「LEDが自動点滅する場合」に従いデモ機能を解除してください。
照明器具を操作できない	照明器具の壁スイッチがオフになっている。
	リモコンの電池が残り少なくなっている。
	リモコンの電池の極性 ⊕⊖が間違っている。
	照明器具のランプが切れている。
	チャンネルスイッチが合っていない。
液晶表示がでない	リモコンの電池の極性 ⊕⊖が間違っている。
	リモコンの電池が残り少なくなっている。

NEC 照明器具

保証書添付　保存用　**取扱説明書**

●このたびはNEC照明器具をお買い上げくださいましてありがとうございます。
●取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。
●取付工事が終わりましたら、この説明書は、ご使用になるお客様が保管してください。

【注意図記号とシグナル用語の意味について】

⚠警告：誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるものです。

⚠注意：誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくものです。

⚠：この記号は、注意(警告)をうながす内容があることを知らせるものです。

⃠：この記号は、禁止の行為であることを知らせるものです。

❗：この記号は、行為をお守りいただく内容を知らせるものです。

器具取付時の安全上の注意

●ご使用の前に、この「器具取付時の安全上の注意」を、よくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警告

❗器具の取り付けは、取扱説明書により確実に取り付けてください。取り付けに不備があると、器具の落下・感電・火災の原因となります。

⃠風呂場など、水や湿気の多い場所で使用しないでください。漏電し、火災・感電の原因となります。

❗器具の取り付けは、重量に耐える所に取扱説明書にしたがい確実に行ってください。取付に不備があると落下し、感電・けがの原因となります。

❗電源線接続の際は、器具の取付方法によって確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。

⚠注意

⃠器具取り付けの電源工事は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。
一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。

⃠この器具は非防水です。湿気、水気のあるところで使用しないでください。湿気、水気のあるところで使用すると、感電・火災の原因となることがあります。

⃠この器具は屋内用です。5℃～35℃の範囲内で使用してください。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると、漏電し、感電・火災の原因となることがあります。

⃠表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。

使用時の安全上の注意

●ご使用の前に、この「使用時の安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警告

⚠布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。

⃠部品の追加改造は絶対にしないでください。
火災・感電の原因となります。

⃠器具の隙間や放熱穴に、金属類やもえやすいものなどを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。

❗ランプ交換等によりカバー、本体を外し、再度取付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けてください。不完全に取付けると、落下してけが・物損の原因となることがあります。

❗ランプ交換やお手入れの際には、必ず電源を切ってください。電源を切らないと、感電の原因となることがあります。

❗ランプ交換の際には、本体表示及び取扱説明書にしたがって、指定された(適合する)ランプを使用してください。指定以外(適合しない)ランプを使用すると、火災の原因となります。

❗万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切ってください。異常状態がおさまったことを確認して電気店に修理を依頼してください。

⚠注意

⚠**壁付調光器のある回路では使用できません。照明器具が故障します。**

⃠お手入れの際は、水洗いはしないでください。
火災・感電の原因となります。

❗ランプ交換やお手入れの際は電源を切って、しばらくしてから行ってください。
点灯中・消灯直後はランプが熱いので手や肌などを、ふれないでください。ランプ及びランプ周辺を触ると、やけどの原因となることがあります。

❗明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店、電気店に修理を依頼してください。

❗万一、カバーなどが破損した場合、ケガの原因となることがありますので、破損部分に直接手や肌などをふれないでください。

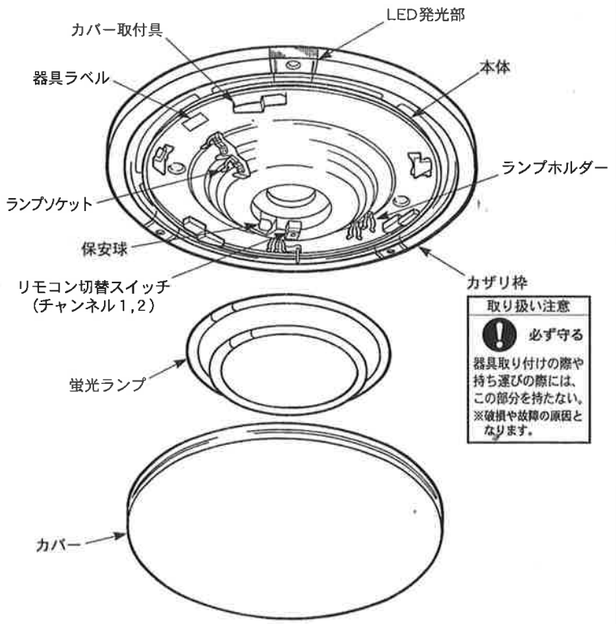
NECライティング株式会社
東京都港区芝1-7-17
〒105-0014　http://www.nelt.co.jp/

<お客様相談室>
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間　平日9:00～12:00　13:00～18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-6746-1521

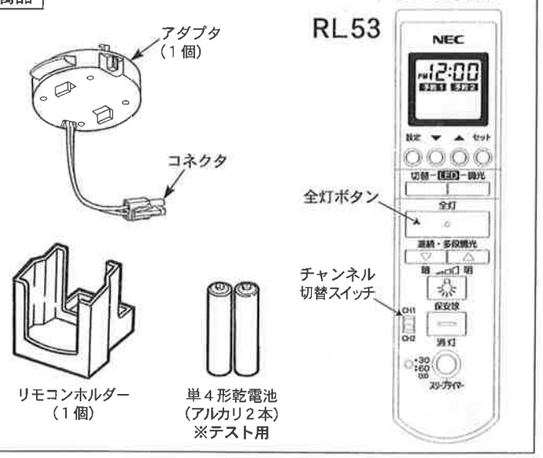
※この紙は再生紙を使用しています

各部の名称

この図は一部省略抽象化した共通部品図です。
機種によってカバー形状が異なる機種もあります。



付属品



リモコン送信機（1個）

〈機能紹介〉

あかりタイマー機能（10～11ページ）	お好きな時間に蛍光灯を自動で全光点灯、消灯できます。
液晶表示（5ページ）	①現在時刻表示　現在時刻を表示します。 ②あかりタイマー予約番号表示　あかりタイマーの予約状況を表示します。
リモコン機能（8～9ページ）	リモコン送信機で蛍光灯の点灯や消灯、LEDの点灯、消灯の操作ができます。
多段調光機能（8ページ）	リモコン送信機の暗・明ボタンを短く押すとデジタル調光（4段階）できます。（100% ⇄ 70% ⇄ 50% ⇄ 10%）
連続調光機能（8ページ）	リモコン送信機の暗・明ボタンを押し続けると連続調光できます。（100% ⇄ 10%）
スリープタイマー機能（9ページ）	リモコン送信機のワンボタン操作で30分後又は60分後に蛍光灯を自動で消灯させることができます。
壁スイッチコントロール機能（4ページ）	壁スイッチの動作で明るさを切り替えることができます。
LED点灯機能（9ページ）	本照明器具はLED付照明器具です。リモコン送信機の［切替］もしくは、［調光］ボタンを押すことによりLEDの点灯・消灯・調光ができます。
フェードオフ機能	蛍光灯点灯時消灯ボタンを押すと、ゆっくりと消灯し高級感を演出します。

スリム形蛍光ランプの特徴

器具に添付していますスリム形蛍光ランプ（FHC＝高周波点灯専用環形蛍光ランプ）は、次のような特徴があります。

◎FHCは、ガラス管径16㎜スリムで、省資源・省スペースおよび、器具の薄型化を可能にした、長寿命な蛍光ランプです。

◎このランプは、発光効率を向上させるために、片側の電極（ランプマークが表示されていない側）に通常より背の高い特殊な電極を採用しています。このためランプマークが表示されている側より、ランプ点灯時の影で若干暗くなっています。

◎ランプ点灯初期に、明るくなるまで少し時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。
約10分程度で明るくなります。

設定した内容を確認する場合

セットボタンを押します。 → 6:00 予約1 タイマー入（予約1の自動点灯時刻）

セットボタンを押すごとに液晶画面が次のように切替り設定を確認できます。

さらに3秒以内に → 1:00 予約1 タイマー切（予約1の自動消灯時刻） → 5:00 予約2 タイマー入（予約2の自動点灯時刻） → 1:00 予約2 タイマー切（予約2の自動消灯時刻）

注）セットボタンを押してから3秒以上経過しますと、液晶画面が通常画面に戻ります。

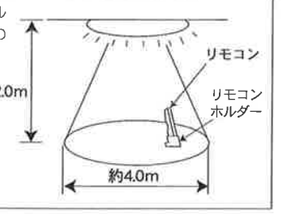
あかりタイマー設定例1	あかりタイマー設定例2	あかりタイマー設定例3
帰宅時間の『午後7:00』に蛍光灯を自動で点灯させ、寝る時間の『午後10:40』に蛍光灯を自動で消灯させる設定を予約2にする場合。	寝る時間の『午後11:30』に蛍光灯を自動で消灯させる設定を予約1にする場合。	朝起きる時間の『午前6:30』に蛍光灯を自動で点灯させる設定を予約2にする場合。
①：設定ボタンを押す。液晶画面の［予約1］が点滅します。	①：設定ボタンを押す。液晶画面の［予約1］が点滅します。	①：設定ボタンを押す。液晶画面の［予約1］が点滅します。
②：▼▲ボタンで［予約2］を点滅させる。	②：▼▲ボタンで［予約1］を点滅させる。	②：▼▲ボタンで［予約2］を点滅させる。
③：セットボタンを押す。	③：セットボタンを押す。	③：セットボタンを押す。
④：▼▲ボタンを押し、液晶画面に「PM」を表示させる。	④：▼▲ボタンを押し、液晶画面に『－：－－』を表示させる。	④：▼▲ボタンを押し、液晶画面に「PM」を表示させる。
⑤：セットボタンを押す。右図のように液晶画面の時刻表示が点滅します。		⑤：セットボタンを押す。右図のように液晶画面の時刻表示が点滅します。
⑥：▼▲ボタンで点灯時刻の『7:00』に合わせる		⑥：▼▲ボタンで点灯時刻の『6:30』に合わせる
⑦：セットボタンを押す。	⑦：セットボタンを押す。	⑦：セットボタンを押す。
⑧：▼▲ボタンを押し、液晶画面に「PM」を表示させる。	⑧：▼▲ボタンを押し、液晶画面に「PM」を表示させる。	⑧：▼▲ボタンを押し、液晶画面に『－：－－』を表示させる。
⑨：セットボタンを押す。右図のように液晶画面の時刻表示が点滅します。	⑨：セットボタンを押す。右図のように液晶画面の時刻表示が点滅します。	
⑩：▼▲ボタンで消灯時刻の『10:40』に合わせる	⑩：▼▲ボタンで消灯時刻の『11:30』に合わせる	
⑪：セットボタンを押す。（これで設定は完了です。）	⑪：セットボタンを押す。（これで設定は完了です。）	⑪：セットボタンを押す。（これで設定は完了です。）

※ 画面は表示例です。実際の表示と異なる場合があります。

重要ポイント

あかりタイマーをご使用の際は、リモコンを付属のリモコンホルダーに入れて信号が届く右図の範囲でご使用ください。

※下図は目安です。



あかりタイマーで照明器具を消灯させる時、保安球点灯/不点灯をチャンネルスイッチによって選ぶことができます。

※ 必ず照明器具本体のチャンネルスイッチと合わせてご使用ください。

●チャンネルスイッチがCH1の場合

保安球を点灯させておきたいときにご使用ください。

●チャンネルスイッチがCH2の場合

保安球を消灯させておきたいときにご使用ください。

あかりタイマー操作方法

《あかりタイマー機能》

お好みの時間に蛍光灯を自動で全灯、消灯（消灯→全灯）させることができます。
また、２種類（予約１、予約２）の設定を登録させておき毎日同じ時間に動作させることができます。

工場出荷のあかりタイマーのメモリ状態

	タイマー入	タイマー切	予約表示
予約1	AM6:00	AM11:00	なし
予約2	PM5:00	PM11:00	なし

設定をまちがえた場合　設定の途中で操作を取り消すことはできません。一度設定を完了させてから再度設定しなおしてください。

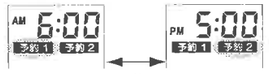
注）電池交換した場合、あかりタイマー設定がリセットされますので再度設定を行ってください。

あかりタイマー設定方法　（あかりタイマーでLEDは操作できません。）

①：設定ボタンを押す。
液晶画面が右図のように表示され 予約１ が点滅します。

※ ■■■ は点滅状態を示しています。

②：▼▲ボタンで予約番号を選択する。
▼▲ボタンを押すごとに液晶画面の 予約１ と 予約２ の点滅が右図のように切り替わります。
予約１を選択する場合　→ 予約１ を点滅させます。
予約２を選択する場合　→ 予約２ を点滅させます。



③：セットボタンを押す。
液晶画面に右図のように②で選択した予約番号（ 予約１ 又は 予約２ ）と
⏲ｵﾌﾀｲﾏｰ入 が表示され『AM』、『PM』 又は『－：－－』 表示が点滅します。

④：▼▲ボタンで自動点灯をする又は自動点灯しないを選択する。
▼▲ボタンを押すごとに液晶画面の『AM』、『PM』、『－：－－』の表示が右図のように切り替わり点滅します。

午前の時刻に点灯させる場合に選択します。
午後の時刻に点灯させる場合に選択します。
自動点灯しない場合に選択します。

⑦項へ

⑤：セットボタンを押す。
液晶画面の時刻表示が点滅します。

⑥：▼▲ボタンで点灯時刻を設定する。
▼▲ボタンで点灯させたい時刻に合わせる

▼▲ボタンを押すと１分単位で変化します。
▼▲ボタン長押しで10分単位で変化します。

⑦：セットボタンを押す。
液晶画面に右図のように②で選択した予約番号（ 予約１ 又は 予約２ ）と
⏲ｵﾌﾀｲﾏｰ切 が表示され『AM』、『PM』 又は『－：－－』 表示が点滅します。

⑧：▼▲ボタンで自動消灯をする又は自動消灯しないを選択する。
▼▲ボタンを押すごとに液晶画面の『AM』、『PM』、『－：－－』の表示が右図のように切り替わり点滅します。

午前の時刻に消灯させる場合に選択します。
午後の時刻に消灯させる場合に選択します。
自動消灯しない場合に選択します。

⑪項へ

⑨：セットボタンを押す。
液晶画面の時刻表示が点滅します。

⑩：▼▲ボタンで消灯時刻を設定する。
▼▲ボタンで消灯させたい時刻に合わせる

▼▲ボタンを押すと１分単位で変化します。
▼▲ボタン長押しで10分単位で変化します。

⑪：セットボタンを押す。（これであかりタイマーの設定は完了です。）
液晶画面が右図のように現在時刻表示画面に戻り、②で選択した予約番号（ 予約１ 又は 予約２ ）が表示されます。

注）同じ予約番号で自動点灯しない、自動消灯しないを設定した場合、その予約番号は表示されません。

設定済の予約の解除(セット)のしかた（あかりタイマーが設定されている状態で操作してください。）

〈予約１を解除(セット)する場合〉
液晶画面に 予約１ が表示されている状態で
◎ ボタンを押します。
液晶画面から 予約１ が消え予約１を解除できます。
予約１を再びセットする場合は
再び ◎ ボタンを押すと、予約１ が表示され予約１がセットできます。

〈予約２を解除(セット)する場合〉
液晶画面に 予約２ が表示されている状態で
◎ ボタンを押します。
液晶画面から 予約２ が消え予約２を解除できます。
予約２を再びセットする場合は
再び ◎ ボタンを押すと、予約２ が表示され予約２がセットできます。

※ 予約を解除しても設定した自動点灯、自動消灯の設定時間は消されずに記憶されます。

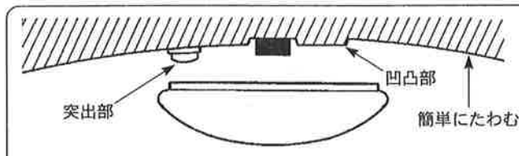
定　格

この器具は、インバータ式の器具です。周波数（50ヘルツ又は60ヘルツ）に関係なくどの地域でも使用できます。

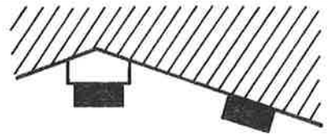
形　式	使用電圧	周波数	定格消費電力	使用蛍光ランプ	使用保安球	始動方法
27形 ＋ 34形 （弊社形式：9LGF***）	AC100V	50Hz／60Hz	78W	FHC27 FHC34	E12なつめ球 （5Wまで）	インバータ式

取り付けできない天井

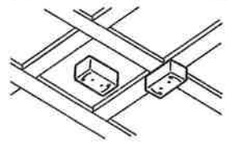
火災・感電・落下によるけがの原因となります。



突出部のある天井・凹凸のある天井・簡単にたわむ弱い天井



変形天井・ななめ天井



サオブチ天井・格子天井

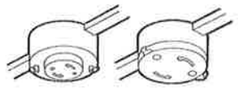
下図の場合は、電気工事店か販売店にご相談ください。

配線だけのもの

破損しているもの

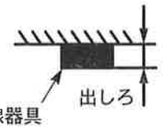
電源端子露出タイプ

ガタつくもの



ケースウェイに取り付いている

次の配線器具は、出しろを確認してください。



角型、丸型引掛シーリング21㎜以下は取り付けできません。

埋込ローゼット10㎜以下は取り付けできません。

電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

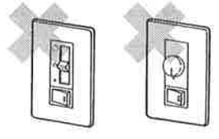
引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。器具が落下する恐れがあります。

取付上のご注意

壁付調光器のある回路では使用しないでください。

⚠ 注意

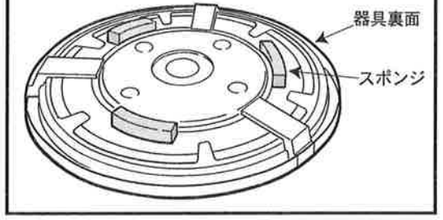
本器具を取り付ける電源回路（壁スイッチ等）に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。
右図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。
（調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。）



《調光器付壁スイッチ代表例》

注意

器具裏面についている黒いスポンジ（３コ）は、取り外さずにご使用ください。



点灯順序

リモコン送信機での操作方法は、8~9ページをご覧ください。

壁スイッチで操作される場合

壁スイッチですばやく（約2秒以内）OFF→ONすることにより（2灯全灯→2灯メモリー調光→保安球点灯）ができます。

消　灯 → 2灯全灯 → 2灯メモリー調光 ※3 → 保安球点灯

※1）壁スイッチをOFFにするとどの点灯状態でも消灯します。

※2）壁スイッチの操作では、LED照明を点灯させることはできません。

※3）2灯メモリー調光：記憶させた明るさにすることができます。
- リモコン送信機の暗・明ボタンで調節したお好みの明るさを自動的に記憶しています。
- リモコン送信機の暗・明ボタンで全灯にした場合は、70%点灯が記憶されています。
- 出荷時は70%点灯を記憶しています。

使用上のご注意

この器具は、FHC27、FHC34専用器具です。従来のFCL30、FCL32、FCL40は使用できません。

■本体を分解したり、改造しないでください。
火災などの原因になります。

■精密機器のため落下などの衝撃を加えないでください。

■壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。
壁スイッチON及び停電復帰後は、全灯状態になります。

■点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがあります。

■ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。

■本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
また、テレビやビデオのリモコン送信機では、照明器具は作動しません。

■器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。

■本器具をご使用中あるいはリモコン送信機で消灯させた状態で停電した場合、停電から復帰したときは全灯状態となります。
長期間のお出かけの際には、壁スイッチで電源を切ってください。

■この器具はリモコンスイッチで消灯してもリモコン部の回路が約1.0Wの電力を消費しておりますので、節電のために長期外出時には壁スイッチを切ってください。

■リモコン送信機は器具に向けて操作してください。
リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、器具が作動しませんので、しゃへい物を取除いて再度ボタンを押してください。

■照明器具にリモコンの信号が届く範囲でご使用ください。
＊部屋の温度によっては、リモコンが動作しづらいことがあります。

■天井や、壁、床の色や材質によってはリモコンが動作しづらいことがあります。

■あかりタイマー機能、スリープタイマー機能をご使用になる場合は、あらかじめリモコンで照明器具が操作できる距離を確認してからご使用ください。

■アルカリ乾電池をご使用ください。マンガン乾電池をご使用の場合は、電池の寿命が短くなり、また送信距離が短くなる場合があります。
電池寿命の目安（1日10回使用の場合）
アルカリ乾電池　　約6ヶ月

■ニッカド電池などの充電式乾電池は使用できません。

■乾電池は、単4形乾電池をご使用ください。

■乾電池は、＋・－の極性を正しく入れてください。

■シンナー、ベンジンなどの揮発性のものやアルカリ系洗剤などを使用して本体を拭かないでください。
外郭強度の低下、変色、故障の原因になります。

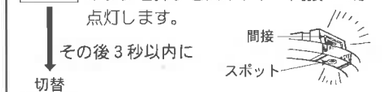
LEDの操作方法

LEDを点灯させたい場合

切替 ボタンを押すとスポット・間接LEDが点灯します。

その後3秒以内に

切替 ボタンを押すたびにLEDが下記の順序で切り替わります。



LEDを消灯させたい場合

LEDが点灯（3秒以上経過後）した状態で

切替 ボタンを押すとLEDが消灯します。

LED消灯後のメモリ機能について

LED点灯時にリモコンの切替ボタンで消灯すると、消灯直前の点灯状態を記憶し、次に調光ボタンを押すと記憶した点灯状態で点灯します。

注）壁スイッチで一旦電源をOFFにすると、**記憶はリセットされます。**

一旦電源をOFFにし、再度電源を入れて調光ボタンを押すと、スポット・間接LEDが点灯します。

LEDの調光点灯

LED点灯時

調光 ボタンを押すと全灯 → 調光 → 全灯に変化します。

お好みの明るさになった所で

調光 ボタンを押すとLEDの調光動作が止まり、明るさが固定できます。

さらに

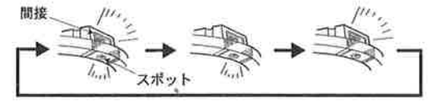
調光 ボタンを押すとLEDの調光動作が始まります。

※スポットのみの点灯時、または間接時のみの点灯時の場合でも調光動作ができ、お好みの明るさで固定ができます。

注1）LED切替ボタン、調光ボタンでは蛍光ランプ、保安球は操作できません。

注2）LEDが右記順序で自動点滅を繰り返す場合は、点滅デモ機能状態になっています。（故障ではありません）

一度電源を切り、器具本体側チャンネルとリモコン送信機チャンネルを「2」に合わせてください。



電源遮断20秒後に再度電源を入れ、5秒以内にリモコン送信機を器具に向けた状態で点滅デモ機能を解除してください。（注：電源遮断時間が短いと解除できません。）

ボタンを順番に押し、

スリープタイマー操作方法

《スリープタイマー機能》

30分後又は60分後に蛍光灯を自動で消灯させることができます。

注）スリープタイマーでLEDは消灯しません。

《設定方法》

◆30分後に消灯させたい場合

スリープタイマーが設定されていない状態で

スリープタイマー ボタンを1回押すことにより設定できます。

◆60分後に消灯させたい場合

スリープタイマーが設定されていない状態で

スリープタイマー ボタンを3秒以内に続けて2回押すことにより設定できます。

◆スリープタイマーを解除したい場合

スリープタイマーが設定された状態で、スリープタイマー ボタンを1回押せば解除できます。

《確認方法》

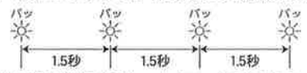
◆30分後に消灯させたい場合

30 / 60（分） タイマーお知らせランプが下記のような間隔で点滅します。

スリープタイマーにより蛍光灯が消灯すると、タイマーお知らせランプも消灯します。

◆60分後に消灯させたい場合

30 / 60（分） タイマーお知らせランプが下記のような間隔で点滅します。



スリープタイマーにより蛍光灯が消灯すると、タイマーお知らせランプも消灯します。

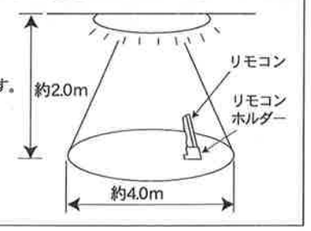
◆スリープタイマーを解除したい場合

30 / 60（分） タイマーお知らせランプが消灯します。

注）このマークはスリープタイマーボタンを押す回数を示しています。タイマーお知らせランプの点滅パターンではございません。

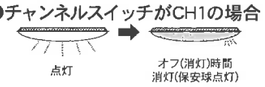
重要ポイント

スリープタイマーをご使用の際は、リモコンを付属のリモコンホルダーに入れて信号が届く下図の範囲でご使用ください。



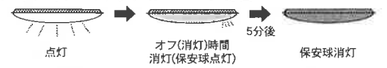
スリープタイマー(60分、30分)で照明器具を消灯させる時、保安球点灯/不点灯をチャンネルスイッチによって選ぶことができます。

●チャンネルスイッチがCH1の場合



保安球を点灯させておきたいときにご使用ください。

●チャンネルスイッチがCH2の場合

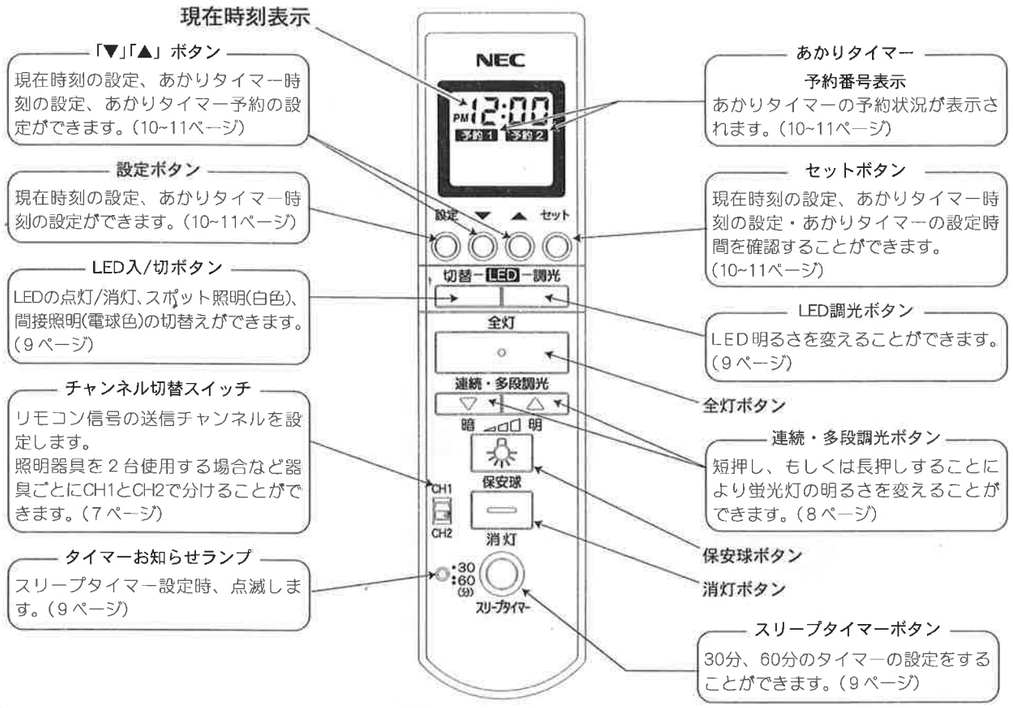


保安球を消灯させておきたいときにご使用ください。

※ 必ず照明器具本体のチャンネルスイッチと合わせてご使用ください。

※あかりタイマーとスリープタイマーを併用した場合、早いほうの設定時刻に消灯します。

リモコンの名称



蛍光灯・保安球の操作方法

蛍光灯を全灯させたい場合

全灯 ○ ボタンを押すと蛍光灯が全灯点灯します。

保安球を点灯させたい場合

保安球 ボタンを押すと保安球のみが点灯します。

蛍光灯、保安球を消灯させたい場合

消灯 ボタンを押すと蛍光灯、保安球が消灯します。

※液晶バックライトが点灯(オレンジ色)します。

蛍光灯の明るさを変えたい場合

蛍光灯を暗くする

▽ 暗 ボタンを

短く押すと… → 蛍光灯の明るさが次のように切り替わります。
全灯→70%点灯→50%点灯→10%点灯(ピッ)

押し続けると… → 蛍光灯の明るさが次のように連続調光できます。
全灯 ——→ 10%点灯(ピッ)
お好みの明るさになったところでボタンを離すとその明るさで点灯します。

注1) 10%点灯時のみ「ピッ」と音がなります。
注2) 10%点灯時のときに ▽ 暗 ボタンを押しても明るさは切り替わりません。

蛍光灯を明るくする

△ 明 ボタンを

短く押すと… → 蛍光灯の明るさが次のように切り替わります。
10%点灯→50%点灯→70%点灯→全灯(ピッ)

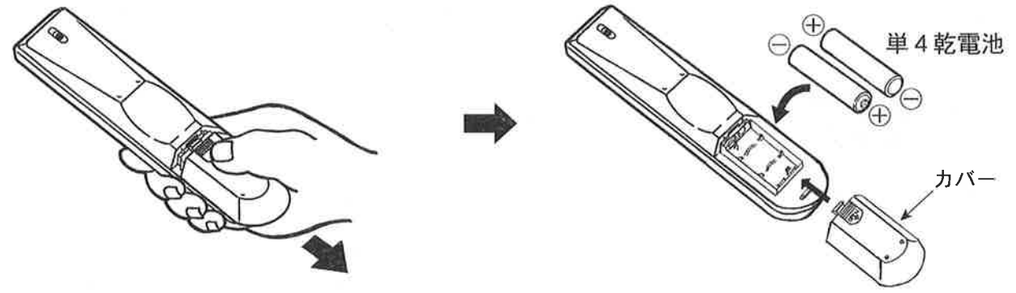
押し続けると… → 蛍光灯の明るさが次のように連続調光できます。
10%点灯 ——→ 全灯(ピッ)
お好みの明るさになったところでボタンを離すとその明るさで点灯します。

注1) 全灯時のみ「ピッ」と音がなります。
注2) 全灯時のときに △ 明 ボタンを押しても明るさは切り替わりません。

注1) 蛍光灯が点灯していない状態では反応(動作)しません。
注2) 全灯、保安球、消灯、連続・多段調光ボタンでLEDは操作できません。

リモコンの電池の入れかた

1. リモコン裏面の電池カバーを軽く押しながら手前に引いて外してください。
2. 単4乾電池2本を、右図のように⊕⊖の向きを合わせてセットする。
3. 電池カバーをスライドさせ、カバーを閉じる。



時刻の合わせかた

※時計の誤差は約±30秒/月です。

設定 ◯ ボタンをAM/PM表示が点滅するまで長押ししてください。 PM 12:00

注) AM/PM表示が点滅する前に設定ボタンをはなすと、あかりタイマーの設定モードになりますのであかりタイマー設定を完了させてから再度時刻設定を行ってください。

↓

◯◯ ボタンを押しAM/PMを選びます。(例として午前9時の設定をします。) AM 12:00

↓

AM/PMが決まれば セット ◯ ボタンを押します。

↓

AM/PMが決定され時刻表示が点滅します。 AM 12:00

↓

◯◯ ボタンを押し希望の時刻に合わせます。 AM 9:00
(◯◯ ボタンを押すと時刻が1分単位で変化し、長押しすると時刻が10分単位で変化します。)

↓

時刻が決まれば セット ◯ ボタンを押します。

↓

時刻の点滅が停止し、時刻が設定されました。 AM 9:00

器具の取付方法

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行って下さい。

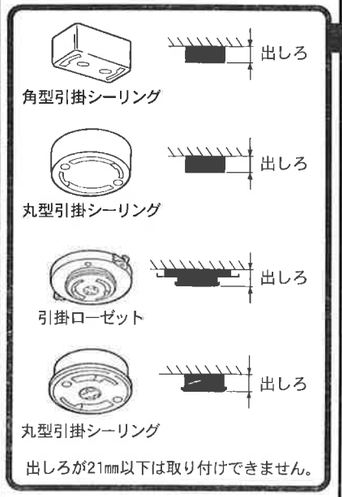
1．天井の引掛シーリングを確認する

取り付け可能な引掛シーリング

・下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。
（ガタつきや破損がないことを確認して下さい。）

重要ポイント

引掛シーリングの形状によって取付方法が異なります。



出しろが21㎜以下は取り付けできません。

出しろが10㎜以下は取付できません。

取り付けできない引掛シーリング

取り付けるする際は、必ず上図の取り付け可能な引掛シーリングに交換して下さい。
交換には電気工事士の資格が必要です。
交換工事は必ず電気工事店に依頼して下さい。

（引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井には取り付けないで下さい。器具が落下する恐れがあります。）

2．アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

⚠警告
落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

2．アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

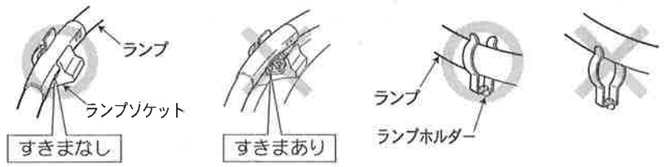
⚠警告
落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3．本体を取り付ける

①ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認してください。

②ランプがランプホルダーに確実に取り付けられていることを確認してください。

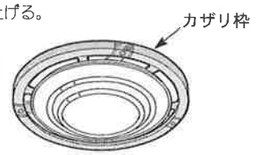
⚠警告 **落下のおそれあり**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

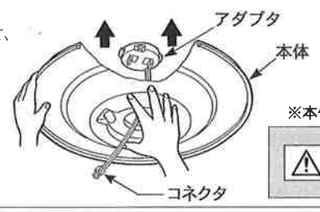


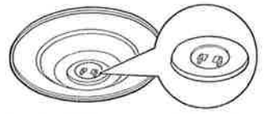
③1段押上げ（仮固定）

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

器具取り付けの際や持ち運びの際にはカザリ枠を持たないでください。
破損や故障の原因となります。







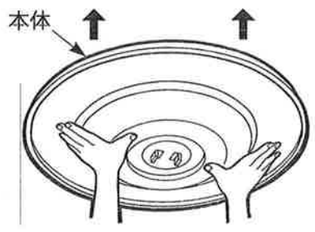
※本体は仮固定の状態ですので、本体はグラついています。

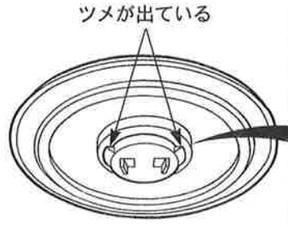
⚠警告 **まだ本体の取り付けは不完全です。**
この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。

重要ポイント

④2段押上げ（取付完了）

さらに強く押し上げる。

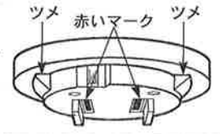




要チェック

①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ(2ヶ所)が完全に出ていることを確認する。

②本体のグラつきがないことを確認する。



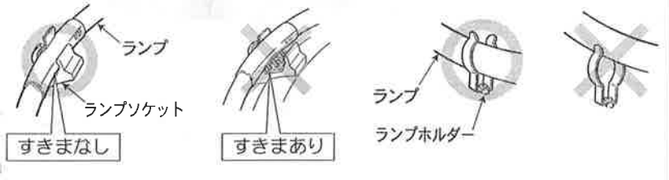
これで本体の取り付けは完了です。

3．本体を取り付ける

①ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認してください。

②ランプがランプホルダーに確実に取り付けられていることを確認してください。

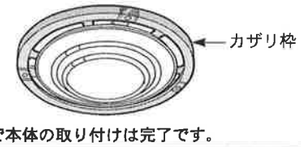
⚠警告 **落下のおそれあり**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

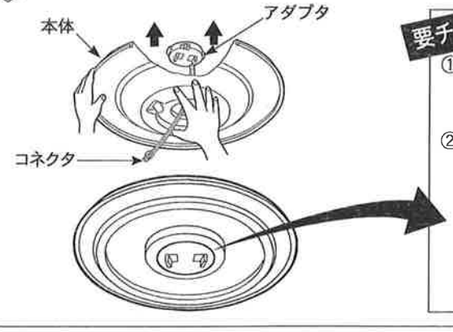


③1段押上げ（取付完了）

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

器具取り付けの際や持ち運びの際にはカザリ枠を持たないでください。
破損や故障の原因となります。

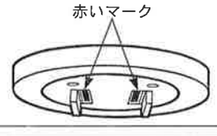




要チェック

①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えていることを確認する。

②本体のグラつきがないことを確認する。

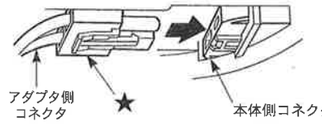


これで本体の取り付けは完了です。

4．電源を接続する

アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込んでください。

★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタを引っ張り抜けないことを確認してください。



5．チャンネルを設定する

■1台のみ操作する場合
器具本体側のチャンネルとリモコン送信器チャンネルを同じチャンネルに合わせてください。
（出荷時のチャンネルは、器具本体側・リモコン送信器共、チャンネル1に設定しています。）

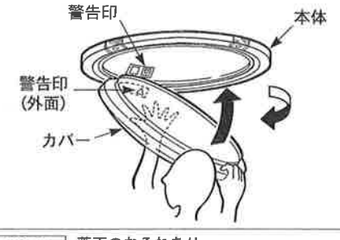
■2台の器具を別々に操作する場合
（1つのリモコン送信器で2台の器具を別々に操作することができます。）
1台目の器具本体側チャンネルを「1」、もう1台の器具本体側のチャンネルを「2」に合わせてください。
リモコン送信器のチャンネルを操作したい方の器具のチャンネルに合わせ、器具を操作してください。

6．カバーを取り付ける

重要ポイント

本体の警告印（⚠）にカバーの警告印（⚠）を合わせカバーを持ち上げパチンと音がするまでカバーを右にまわしてください。

カバー取り付け時に本体が回転してしまう場合は、本体の取り付け（押し上げ）が不十分です。
「3．本体を取り付ける」に従って、本体の取り付け（押し上げ）を確認してください。



⚠警告 **落下のおそれあり**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。